

平成31年度教育行政の主要事業等について ～「あいちの教育ビジョン2020」における主な施策の取組の方向～

※丸囲み枠内
・ゴシック体…平成31年度新規事業
・下線…知事部局所管事業

資料

【基本的な取組の方向1】

個に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばします

＜個に応じたきめ細かな指導の充実＞

高大接続改革や次期学習指導要領を踏まえた「課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び」の推進により、これからの社会を生き抜くための資質・能力を育成します。

- ◇次期学習指導要領（小：H32、中：H33、高：H34実施）を踏まえた授業改善の推進
- ◇全国学力・学習状況調査の分析結果を活用した指導方法の改善

＜多様な学びを保障する学校・仕組みづくり＞

児童生徒の学習に対する興味、関心や進路希望の多様化に対応するため、「県立高等学校教育推進実施計画（第1期）」（平成27～31年度）に基づき、特色ある県立高等学校づくりを推進するとともに、平成32年度から平成36年度までを計画期間とする第2期実施計画を策定します。

- ◇総合学科の新たな設置（知立高校・新城有教館高校：平成31年度）
- ◇刈谷北高校：国際教養科を新設、小牧工業高校：航空産業科を新設、名南工業高校：情報技術科・化学工業科をエネルギーシステム科・エネルギー化学科に改編（平成31年度）
- ◇「県立高等学校教育推進実施計画（第2期）」（平成32～36年度）の策定（平成31年度）
- ◇東三河教育プロジェクト（平成32年度）
 - ・豊橋西高校：豊橋市内初の総合学科新設
 - ・豊橋工業高校：本県初のロボット工学科新設
 - ・渥美農業高校：あつみ次世代農業創出プロジェクトの実施
 - ・時習館高校：「あいちグローバルハイスクール」（新規）の指定

＜特別支援教育の充実＞

「第2期愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン2023）」に基づき、障害のある子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援・指導の充実を目指します。また、過大化による教室不足の解消のため、特別支援学校を新設します。

◇第2期特別支援教育推進計画（平成31～35年度）に基づく取組の推進

- ・障害の有無によって分け隔てられないことがない「共生社会の実現に向けた特別支援教育」の充実
- ・幼稚園・保育所、小中学校、高等学校及び特別支援学校の校種間の連続性（つながり）を意識した取組の展開
- ・卒業後の自立と社会参加を目指した就労支援の充実

◇特別支援学校の新設等

- ・瀬戸つばき特別支援学校（平成31年度開校）、西三河南部地区新設特別支援学校（平成34年度開校予定）
- ・岡崎特別支援学校の早期移転に向けた調査の実施（平成31年度）

◇公立小・中学校及び県立高校における通級指導担当教員の配置

◇県立高校における通級指導の複数校実施

＜理数教育の推進＞

本県の「ものづくり産業」を維持・発展させていくため、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の4分野に重点を置いたSTEM教育により「ものづくり愛知の未来を担う理数工学系人材」を育成し、成果を普及します。

- ◇研究指定校（あいちSTEMハイスクール）におけるSTEM教育の実施
- ◇愛知総合工科高校へのSTEM教育支援員の配置による小中学校へのSTEM教育の普及
- ◇STEM教育魅力発信講座の開催

＜情報教育の充実＞

子どもたちの情報活用能力を育成するために、ICT環境の整備を図ります。

- ◇県立学校における児童生徒用・教員用パソコン・タブレット端末整備、ICT支援員のモデル配置

＜日本語指導が必要な子どもたちへの支援の充実＞

外国人児童生徒の増加及び多国籍化に対応するため、受入体制の整備や日本語学習支援などにより、小学校入学前から高等学校卒業まで、外国人児童生徒の支援を充実します。

- ◇日本語教育適応学級担当教員の配置、語学相談員による訪問指導（小中）
- ◇外国人生徒教育支援員の配置（高、特支）
- ◇小型通訳機の導入（定時制高、特支）
- ◇就労アドバイザーの配置（定時制・通信制高）
- ◇プレスクールの設置の促進、「日本語学習支援基金」の活用、日本語指導ボランティアの養成

＜貧困状態にある子どもたちへの支援の充実＞

学ぶ意欲のある全ての子どもたちに質の高い教育を受ける機会を保障するため、必要な環境整備と教育費負担の軽減を図り、貧困状態にある子どもたちへの支援を推進します。

- ◇児童生徒支援対応教員の配置（小中）
- ◇就学支援金、高等学校等奨学金貸付金、公立高等学校等奨学給付金、入学納付金補助、授業料軽減等による修学支援（高）
- ◇スクールソーシャルワーカーの配置
- ◇若者・外国人への学習支援、生活困窮世帯の子どもやひとり親家庭の子どもを対象とした学習支援
- ◇子どもが輝く未来基金

【基本的な取組の方向2】

人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、**道徳性・社会性を育みます**

＜道徳教育の充実＞

中学校で平成31年度から実施予定の「特別の教科 道徳」の実施（小学校は平成30年度から実施）に伴い、「考え、議論する」道徳科としての指導方法の改善を図ります。

- ◇道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」の活用による指導方法の改善・充実

＜いじめ・不登校等への対応の充実＞

いじめや不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を図り、児童・生徒の心のサポート体制を充実します。

- ◇スクールカウンセラー（小、中、小・中連携校、高、**特支**）、スクールソーシャルワーカー（高、**特支**）の配置及び配置する市町村への補助
- ◇24時間体制の電話相談の運営、県立学校におけるネットパトロールの実施

【基本的な取組の方向3】

健やかな体と心を育む教育を充実させ、たくましく生きる力を育みます

＜幼児教育の充実＞

幼児期に育てたい「学びに向かう力」の育成を通じ、生涯にわたる人格形成の基礎を培うとともに、子どもの発達や学びの連続性を意識した小学校との連携を強化します。

- ◇「学びに向かう力」の育成に向けた研究の実施と成果の普及、小学校との連携・接続に関する研修の充実

＜学校体育の充実＞

子どもの体力・運動能力を向上させるとともに、子どもたちが日常生活においても、運動やスポーツに親しんでいくことができるよう、体育に関する活動を充実します。

- ◇部活動指導ガイドラインに基づく、より効果的で持続可能な部活動の実施
- ◇「子どもの体力向上運動プログラム」の普及、「子どもスポーツふれあい事業」の開催

【基本的な取組の方向4】

未来への学びを充実させ、あいちを担う人材を育成します

＜社会人・職業人としての自立に向けたキャリア教育の推進＞

一人ひとりの子どもたちが、社会の中で生きていくために不可欠な能力を育むため、小学校から高等学校まで継続したキャリア教育を推進するとともに、特別支援学校卒業生の就労支援に取り組みます。

- ◇魅力あるあいちキャリアプロジェクト「つなぐ」（小中）、インターンシップの実施（キャリア教育コーディネーターの活用）（高）
- ◇就労アドバイザーの配置・拡充（**定時制・通信制高、特支**）
- ◇あいち高等学校男女共同参画海外派遣
- ◇「障害のある生徒の就労支援のための映像コンテンツ（動画）」の活用（**特支**）

<グローバル化への対応の推進>

主体性や積極性、課題を発見し解決する力、語学力など、グローバル社会に必要な力を育むとともに、子どもたちが日本人としての自覚を持ち、主体的に生きていくため、自国及び他国の伝統・文化・地理・歴史に対する理解を深め、尊重する態度を育みます。

- ◇小学校における英語専科教員の配置
- ◇「イングリッシュキャンプ in あいち」「イングリッシュ 1 Day ツアー」の実施
- ◇専門高校生海外インターンシッププロジェクトの実施
- ◇あいちグローバルハイスクール事業の実施（平成31年度：旭丘高校、平成32年度：時習館高校）

<「オリンピック・パラリンピック教育」の推進>

国際的な視野から世界の平和に貢献できる人材を育成する国際理解教育を推進します。

- ◇オリンピック・パラリンピック教育推進校における学びの実践と成果の普及、国際大会ボランティアの養成

<伝統文化・文化財の継承と新たな文化の創造>

あいちの山車まつりの保存・継承を図り、「あいち山車まつり日本一協議会」の取組を支援してその魅力を県内外に広く発信するとともに、朝日遺跡の魅力を発信し、清洲貝殻山貝塚資料館を拡充整備します。

- ◇清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備（平成32年秋開館）

【基本的な取組の方向5】

学びがいのある魅力的な教育環境づくりを進めます

<教員の養成・採用・研修の改善>

「愛知県教員育成指標」（平成29年度策定）を踏まえ、体系的な研修を実施します。

- ◇教員研修の継続的な見直し及び実施（平成30年度～）

<開かれた学校づくりと多忙化解消への支援>

平成29年3月に策定した「教員の多忙化解消プラン」に基づき、一人ひとりの子どもに丁寧に関わりながら質の高い授業や個に応じた指導を実現していくため、教員の多忙化解消に向けた取組を進めます。

- ◇長時間労働の是正に向けた**在校時間管理の適正化**
- ◇「部活動指導ガイドライン」に基づくより効果的かつ持続可能な活動の実施、部活動指導員の配置
- ◇中学校に**スクール・サポート・スタッフ**を配置する**市町村への補助**
- ◇県立学校における**ICT支援員のモデル配置**（再掲）

<学校施設・設備の充実>

学校の施設の老朽化が深刻になっていることから、「県立学校施設長寿命化計画」（平成30年度策定）に基づき、適切な教育環境を確保するための老朽化対策を実施します。

- ◇県立学校建物の**長寿命化改修**及び**大規模改造の実施**
- ◇県立学校における**トイレの洋式化**及び**床の乾式化**（高・特支）